

1

認知症研究の最前線 (対面・オンライン講座)



講座概要

「最近もの忘れが多くて」、そんな心配をされてはいませんか？そもそも年齢相応のもの忘れと、病気（認知症）によるもの忘れはどこが違うのでしょうか？

新潟大学脳研究所・統合脳機能研究センターでは、認知症の超早期診断や、治療薬の開発、並びに予防法の確立を目指して、生きているヒトの脳を直接画像で観察する研究を行っています。公開講座「認知症研究の最前線」では、最新の研究成果を元にして、加齢による物忘れと認知症の違い、もの忘れが心配になったらどうしたら良いのか、最近海外で承認をされた認知症新薬について、認知症の予防法について、などを学べる一連の講義を行います。また講義の中では、実際に脳の機能を評価する検査の体験も予定しています。

日 程	講義題目	講 義 内 容	講 師
【対面・Zoom】 6月14日(水) 18:00~19:30	体験する ヒトの脳機能 —認知症 早期発見のために—	我々が世界を認識するための臓器“脳”。この脳の機能の不思議を体験してみましょ。さらに、病気による脳機能の障害＝“認知症”の症状について概説し、当研究室で行っている脳機能検査を体験してもらいます。 (オンライン受講者には検査キットを郵送する予定です。)	脳研究所 助 教 員 山 公 大
【YouTube】 6月19日(月) 配信予定		6月14日(水)の講義録画を配信します。	
【対面・Zoom】 9月13日(水) 18:00~19:30	認知症の最新治療	最近ニュースで、認知症の新規治療薬が話題となりました。本講演では、認知症治療の新薬や予防法につき、最新の知見に基づきながらわかりやすく解説します。	脳研究所 教 授 島 田 齊
【YouTube】 9月19日(火) 配信予定		9月13日(水)の講義録画を配信します。	

- Zoomの受講では、講義時間中に音声通話とメッセージによる質問を受付けます。音声通話で質問をご希望の方は、マイク等を備えた機器が必要です。
- 配信期間中（10月18日(水)まで）は、メール等でも質問を受付けます。